



# 香葉

第20号

通算51号

最終号

関東学院女子短期大学

香葉会

発行人 山口佳子

代表 〒236-8503

横浜市金沢区

六浦東1-50-1

直通・FAX 045-787-0678

E-mail: kgckoyokai@gmail.com

URL https://koyokai.shonan.cc

香葉会は2022年12月末で解散します。  
みなさん本当にありがとうございました。

## 香葉とともに

発行日：2022年10月を予定しています。  
(対象の方には郵送します)

### 送付対象者について

#### ●会費・賛助金の納入実績のある方

短大改組後の2003年以後、会費・  
賛助金の納入実績のある方のうち、  
現在も「香葉」をお送りしている方

※現在「香葉」が届いていても、納入実績がない方は対象外となりますのでご注意ください。尚、改組前の納入者は確認が困難なため対象外です。改組後の納入者はホームページのバックナンバーでも確認可能です。

#### ●「香葉とともに」原稿執筆者

会費納入の有無は問いません。

#### ●その他ご希望の方

上記に該当しないけれど冊子がほしい方は、香葉20号に同封した納付書で会費・賛助金を1口以上納入ください。

最終納入期限：2022年10月31日



※可能な限り8月末までに納入ください。9月～10月納入の方への発送は、遅れる場合があります。

※現在は「香葉」の発送を辞退されていても対象期間に会費の納入実績がある方は、ご連絡いただければお送りします。

#### ●2冊以上ご希望の方

事務局までご連絡ください。部数によって送料をご負担いただく場合があります。

納付書に記載されるときは、ご希望部数と電話番号・メールアドレス等事務局からの連絡が可能なものを必ず明記ください。

お問合せ・送付希望・送付辞退等は可能な限りメール・FAXでお願いします。(連絡先・送付先を明記ください)留守電の際は必ず電話番号をお知らせください。ごくまに送られたはずのメールが届いていないことがあります。返信がなかったときは、お手数でも確認のご連絡をお願いします。

## 卒業生名簿の取り扱い

解散後も個人情報を含む卒業生名簿は破棄せず保管します。在籍確認には使用しますが、外部への情報提供は一切しないことをお約束します。また、どうしてもご本人に連絡をしたいときは、現在の役員が直接ご連絡します。これまで住所変更時等にお預かりしたメールアドレスも同様です。

## 賛助金納付口座

香葉に同封した納付書の会費・賛助金口座は年内に解約します。払込票に記載の日付以後振込はできませんのでお早めをお願いします。

## 香葉会の電話番号

12月末の解散後は電話・FAXは使えなくなります。残務処理のために3月末頃までは香葉会室をお借りする予定ですが、香葉会室の閉室日は未定です。

## メールによる「情報配信」のご案内

コロナ終息後にみなさんと集まれる機会を作りたいと考えています。メールでのご案内を希望される方はホームページをご確認ください。

## 「関東学院女子短期大学記念奨学金」2021年度報告

女子短期大学の奨学金を原資とする上記奨学金の利用状況の報告です。

第1種(家計急変)、第2種(留学生) 共になし

第3種(学業優秀) 7名 700,000円

上記は給付型の奨学金ですが、短大奨学金の返還が続いているため、利息等を含めて2021年度の収支は2,432,749円でした。今後も女子短期大学の流れを汲む人間共生学部・栄養学部・教育学部の3学部で運用されます。

## 短大卒業アルバム求む！

卒業生の皆様にとって貴重な卒業アルバムですが、学院として保存し永く後世に伝え残したいと考えております。学院にご寄贈いただける卒業アルバムがありましたら下記へお問合せください。なお、1995年度以前の在庫が少ない状況です。

学校法人関東学院 学院史資料室事務局

電話：045-786-7066 FAX：045-786-2932

Mail：archives@kanto-gakuin.ac.jp

関東学院ホームページ

<https://www.kanto-gakuin.ac.jp/>

## 会長挨拶

山口 佳子 (国一回)



皆様、こんにちは  
「香葉会」  
という名称  
で、関東学  
院女子短期  
大学の同窓  
会が設立さ

れ、短大のお知らせや学内でどんなことが起こっているのか等の広報をしたく、設立と同時に一年に一回「香葉」という冊子をお届けしてまいりました。

冊子「香葉」は二〇〇二年最終号としてNo.三十一まで発刊、今、ご覧いただいているタブロイド版香葉は二〇号を数えます。同時にこの「香葉二〇号」が同窓会香葉会としてお送りする最後の版となります。

「香葉」を読み続けてくださり、励ましの言葉をくださった多くの同窓生の皆様、短大改組後も温かく見守ってくださった先生方、活動拠点として同窓会室を下さり、また、相談に乗ってくださった学院関係の方々、職員の皆様、長い間本当にありがとうございました。

AI、IOTがコロナという感染症のもたらした影響とともに急速な進化を遂げています。多種多様なIOTの活用方法は、ともすれば父娘関係さえ立場の逆転するような生活環境をも生み出しています。こ

いった中で学院は、園児、児童、生徒、学生にとってどんなことが出来るのかを常に考えていくことになるでしょう。

関東学院はこども園から大学院までが連なる総合学院です。それは強みであると同時に弱みにもなるかもしれせん。

創立一五〇周年を念頭に置き、「人になれ奉仕せよ」の校訓を大切にし、伝統と歴史を以て、豊かで自由な教育を継続してほしいと願っております。

かすかな音で源流を發した教育の場が、流れの岐路を的確に捉え大河に達していくことを心から祈り、みなさんとともに応援していきたいと考えます。

そしてたかが二年、されど二年、関東学院女子短期大学で学んだ短大の卒業生は関東学院をいつも誇りに思い、立ち上がる基盤と考えてきました。これからも関東学院という大河の流れの音を聞きながら人生を歩んでいくことと思います。

ここで学んだ証として「香葉」ともに「タイトル」を付けました記念誌を置いてまいります。同窓会役員と短大にながくかかわってこられた方たちが協力して、編集にあたっています。あの頃はよかった、だけではなく未来を支えてくれた教育の場がここにあったということの証となってくれたらと考えています。

これからの関東学院の発展をお祈りいたします。そして万感の思いを込めて、皆様、ありがとうございます。



## 林淳三先生記念礼拝開催

関東学院女子短期大学で一九六七（昭和四二）年度から二二二年間専任教授として、さらに一九九四（平成六）年度までは特約教授であられた林淳三名誉教授は、二〇二一（令和

三）年六月八日に九八歳でお亡くなりになりました。

林先生は学長として七期一六年、家政科長として一〇年、幼児教育科長として三年半、附属幼稚園園長事務取扱として五年、文字通り女子短期大学を牽引し、室の木校地を開拓、校舎を建て、六浦校地から女子短期大学を移されました。

さらに定年後、東京・文京区にある彰栄学園の学園長、理事長、彰栄保育福祉専門学校校長などを二六年務められました。

林先生の召天一年を記念して追悼集会が有志により企画され、この（二〇二二年）六月四日（土）午後二時から関東学院大学室の木キャンパスのチャペルで「林淳三先生を偲ぶ会」と題した式典が執り行われました。このチャペルは林先生がキリスト教教育の具現化を図り、主導して建てられたものです。

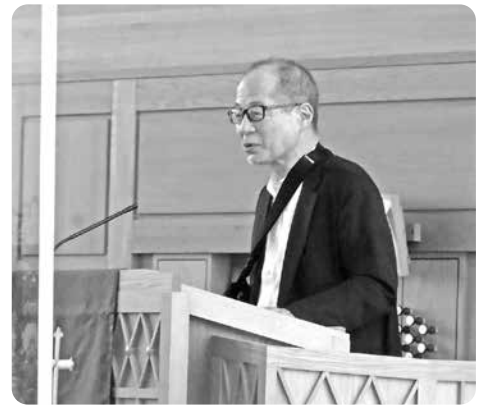
式典は第一部「追悼礼拝」、第二部「林淳三先生を偲ぶ言葉」という二部構成。





左：石渡先生 右：倉沢先生

第一部「追悼礼拝」は、関東学院大学宗教主任の石渡浩司先生の司式、菊池友子オルガニスト（幼児教育科卒）で行われました。聖句は新共同訳聖書のコリントの信徒への手紙一 一五章五四〜五八



林淳三先生のご長男の林研三先生



香葉会山口会長と彰栄保育福祉専門学校同窓会 市原会長

節で、説教は「勝利を賜る神」と題して石渡先生が聖句を引用し、林先生は今なお、生きて、皆を見守っていると論されました。讃美歌は新型コロナウイルス感染防止の観点からパイオルガンによる演奏だけで、参会者一同、胸の内での賛美。頌栄に続いては献花。パイオルガンの奏でる静かな音楽の中、司式の石渡先生に続いて北海道からこの会のためにお越しくださったご遺族代表、そして参会者の順で白いカーネーションが捧げられ、懐かし気に微笑んで見えるご遺影の前は沢山の花で飾られ、起立しての終禱、そして後奏をもって厳かな追悼礼拝は終わりました。休憩を挟んで第二部は「林淳三先生を偲ぶ言葉」。より多くの方々にスピーチをお願いしたかったものの時間の関係から林先生と特につなごりの深かった関東学院女子短期大学や彰栄学園の関係者及び両同窓会会長。東京聖栄大学（元聖徳栄養短期大学の後身）、全国栄養士養成施設



協会、日本食生活学会、日本フードスペシャリスト協会、建帛社の方々にお願ひしました。林先生に直接触れ合った方々のお話は時にユーモアがあり、会衆から笑いが漏れる和やかな雰囲気となりました。立場の違う方たちのスピーチは、初めて何うことが多く、林先生が活躍された世界の広さとその偉大さを改めて認識させられると共に、誰に対しても真摯に温かく接しておられた先生のお姿が浮かんできました。スピーチの後は弔電のご披露、ご遺族の挨拶がありました。挨拶に立たれた先生のご長男は先生に似ているとの声も。こうして四時を少し回ったところで散会。



当日は、雲が少し多かったもののチャペルの窓からは爽やかなそよ風が入るなど天候に恵まれ、久し振りに再会した方たちも多く、散会後は学生ホールで談笑する姿も見られました。（中村英夫 林淳三先生を偲ぶ会実行委員・元短期大学事務次長）



林先生が関東学院女子短期大学を去られたのは二七年前、彰栄学園を九二歳で辞されてからも七年と時が流れていましたが、スピーチされた学校の卒業生や現旧教職員等、遠くは磐田市や羽村市、久喜市、川越市などから先生のご遺徳を慕い、一〇余名が来られ、齢八〇を超える方々もおられました。

# 計報



## 湊 井東先生



故 湊 井東先生

長く短大で体育実技を担当された湊 井東（ミナト セツ）先生が令和三年一月に九十二歳でご逝去されました。いつも優しいさ

紀要』第八三号一九九八年）

## 小野寺里佳さん



故 小野寺里佳さん

短大時代はルツ寮栄養士及び学生課でご活躍され、改組後も大学学生生活部で奉職されていらっ

### 編集後記

香葉二〇号・通算五一号という歴史の重みを感じています。燦然と香葉支部時代を含めると短大の同窓会としては六二年の歳月が流れました。最後に集まる場を作れなかつたことは心残りですが、五

### 香葉会 年会費・賛助金 納入者名簿

令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)のご寄付は1,245,000円となりました。「香葉とともに」ご希望の方を含め、例年よりも多くの方にご協力いただきありがとうございました。

Table with 3 columns: Member Name, Amount, and Status. Lists names of donors and their respective contribution amounts.

### 関東学院女子短期大学 香葉会

Table with 3 columns: Category (Income/Expense), 2021 Actual, 2022 Budget. Shows financial summary for the association.

二〇二二年度決算の寄付金は「関東学院大学 横浜・関内キャンパス開設資金」に寄付いたしました。キャンパスの銘板に「関東学院女子短期大学同窓会香葉会」の名前が残ります

### 二〇二二年度決算・二〇二二年度予算



益 二 沼 根 倉 宮 矢 一 神 藤 山 中 川 久 美 由 喜 子 昌 子 般 雅 美